

台湾IIT商社と合併

東京未来 スタイル 研究用試薬・材料販売

【水戸】東京未来スタイル(茨城県つくば市、遠藤隆社長、029・851・9222)は、台湾のIIT商社・網護科技(台北市)と合併会社「東京未来式股份有限公司(トキヨーフューチャースタイルタイワン)」を台北市に設立した。再生医療やがん研究、熱帯感染症分野を中心に、台湾内のライフサイエンス研究市場向けに研究用試薬や材料を輸入販売する。初年度に1億円の売り上げを目指す。

新会社の資本金は526万5000円で、出資比率は東京未来スタイル53%、網護科技47%。本社は網護科技の本社事務所内に設置し、遠藤社長が代表を兼務する。網護科技の周繼隆社長が取締役に就任し当面は現地採用の従業員3人を含めた

5人体制で運営する。新会社は臨床検体流通事業を手がける。具体的には、欧米から台湾へのヒト由来研究用検体の輸入、台湾から

米國や日本への臨床検体の輸出などを行う。また、長康大学イノベーションセンターへの事務所開設も予定し、台湾の大学やベンチャー企業が開発した技術の、日本や欧米などへのグローバル展開も支援する。

東京未来スタイルは研究用試薬・材料の商社。網護科技はセキユリテイソフウエアなどを海外から台湾へ輸入販売する。2016年度から両社の合併事業を立ち上げ、台湾市場の開拓・調査活動をしていく。